



楠隼 Letter

～ 来たるべき日のために ～

鹿児島県立
楠隼中学校
楠隼高等学校
第39号
令和4年12月発行



鹿児島県立楠隼
中学校・高等学校



中1 農業漁業民泊体験

先日、中学1年生は農業漁業民泊体験を実施しました。この行事は本校生が中学1年生と高校1年生のときに実施するもので、肝付町とその周辺の市町の御家庭に生徒が宿泊し、農作物の収穫などの体験活動を行うものです。ここ数年間は新型コロナウイルス感染症のため実施自体を見送ったり日帰りで実施したりしてきましたが、今年度は3年ぶりに宿泊を伴う本来のかたちで実施することができました。入村式では、全国から集まった本校生にとって生粋の鹿児島弁に戸惑う場面ははじめ見られましたが、すぐに慣れて積極的にコミュニケーションを図っていました。本番では2日間とも天候に恵まれ、各受入家庭の皆様にとくさんの体験活動をさせていただきました。小学校から宿泊行事自体なかなか経験できていなかった生徒たちにとっては、本当に思い出に残る行事になりました。退村式での受入家庭との別れは名残惜しそうでしたが、1泊2日の体験活動を通して多くのことを学び、成長できたはずです。万全な感染症対策で体験活動を受け入れていただいた御家庭の皆様、そして農業漁業民泊体験実施にあたって支援をいただきました肝付町観光協会の皆様に深く感謝申し上げます。



高2 エンパワーメントプログラム

12月5日(月)～9日(金)の5日間、本校にて高校2年生を対象にエンパワーメントプログラム(英語研修プログラム)を実施しました。メインで研修を進める1人のイギリス人の先生と東京大学、東京外国語大学、横浜国立大学、埼玉大学等で勉学に励んでいる様々な国籍を持つ8人の海外留学生をグループリーダーとして迎え入れました。1グループ4～5人の生徒にファシリテーターとして留学生1人が付いて、「テクノロジー」、「多様化社会」、「FOOD LOSS」、「SDGs」等々、様々なテーマについてディスカッション、ポスターセッション、プレゼンテーション等の活動を行いました。活動は全て英語を用いなければならない、日本語は禁止という環境での5日間のプログラム。最初は若干緊張気味だった生徒たちも、ユーモアと熱意あふれるメインティーチャーと、8人のグループリーダー(留学生)のおかげで、間違いを恐れず、積極的に英語でコミュニケーションを図れるようになりました。最終日は参加者全員が1人ずつプレゼンテーションを行いました。なんと全ての生徒がジェスチャーを交えつつ堂々と英語でプレゼンテーションできるようになったのです。わずか5日間でこれほど変わるものかと驚かされました。

